


青年部事業所の各種施策・政策活用事例

商工会名	千葉県(都道府県)印西市商工会		青年部員名	木村 智城
企業名	(株)木村食品		代表者名	木村 壽意
企業概要	業種	餅製造業	設立年	昭和 58 年
			従業員数	4 人
補助事業名	タイ国の消費者をターゲットにした日本産及びタイ産米の切り餅販売事業の開始		テーマ区分(選択) 新商品開発・設備投資	
<p>【施策・政策を活用した経緯】※企業の経営状況、問題・課題等を含め記入</p> <p>・自社の経営状況と市場環境</p> <p>近年、外食産業の台頭や食のヘルシー志向により、通常の餅の国内需要は減少傾向にある。そこで、当社としては、若者をターゲットに低カロリー化した餅やおかきなどの開発につとめ、昨年はその売上が伸びている。しかし、国内需要においては人口減少や少子高齢化等もあって依然として、厳しい状況にある。このような中、当社の切り餅の原材料の外国産についてはタイ産のお米を使用していることから、タイ国においても餅の需要やニーズがあるのではないかと感じ、今回の補助事業に取り組んだ。</p> <p>・問題</p> <p>餅製品における製造のノウハウにおいては絶対の自信を持っていると自負している。しかしながら、上記でも述べているように通常の餅の国内需要は減少傾向にある。また、国内の人口も減少していることから、新たな市場の開拓をする必要があった。</p> <p>・課題</p> <p>① 今後、タイ国へ輸出するにあたって、タイ国の消費者にあった製品開発(食感・量・味等)を行う必要がある。</p> <p>② 現状の生産体制では増産に限界が生じている</p> <p>③ 取引先を通じた基本調査を行い手ごたえは感じているが、直接の現地調査は未実施</p> <p>④ タイ国の消費者に向けた PR 戦略が必要</p>				
<p>【主な活用内容、方法等】</p> <p>平成 28 年度補正革新的なものづくり・商業・サービス開発支援補助金を活用し、新商品開発に伴う設備投資を実施。また、計画書作成においては専門家派遣制度を活用しアドバイザー等の指導支援を受けた。</p>			<p>写真(3枚程度)</p> 	

【活用の成果】

※なるべく具体的な数値等（売上、来店数、指標等）を含め記入

海外展開事業を行って始めたのが平成28年の12月からなので、売上において変動は生じていないものの、生産体制としては従来の1.3~1.5倍の生産体制を構築することができた。



01 木村の切りもち

もち米粉、もち米のブレンドにより、従来の切り餅の腰の強さに加えさらに「なめらかさ・のび」を強調した製品です。大袋に包装したお得なサイズです。



【活用後の声】

青年部事業の補助金勉強会などを通して、小規模事業者持続化補助金や今回の革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金の情報を得たことが今回の始まりでした。

今回の取組みにあたり、改めて自社の経営について考えたことで、新たな気づきや考えさせられる発見などがあり、事業計画の必要性の重要性を感じました。

また、今回の施策活用においては自分だけではなく、作成を支援していただいた商工会の派遣制度より紹介いただいた専門家の先生や商工会の指導員さんの支援は非常に有意義なものでした。

このように商工会の利用についても青年部活動をしていなければ知らなかったのので、青年部活動は地域振興だけでなく、企業経営を考えたり、経営に関する情報資源の場でもあると感じました。